

2025 年 6 月 10 日

Progmatic, Inc.
KDX ST パートナース株式会社

デジタルアセット市場における“新たな投資家体験”を実現する、
発行者・アプリ提供者向け「ワンストップデータ連携サービス」の提供開始について



Progmatic, Inc.（代表取締役 Founder and CEO: 齊藤 達哉、以下 Progmatic）と KDX ST パートナース株式会社（代表取締役社長：中尾 彰宏、以下 KST）が協業し、デジタル証券（Security Token、以下 ST）の発行者及びアプリ提供者向けの「ワンストップデータ連携サービス」（以下本サービス）の提供を開始しますので、お知らせします。

本サービスは、KST が提供する「KDX ST アプリ*1」において利用を開始するほか、他の事業者においても利用が可能となります。ST 投資家は、本サービスを利用するための ST 投資家向けアプリ等を通じて、原簿管理人や仲介者を問わず横断的に自身の ST 情報を参照することが可能となります。

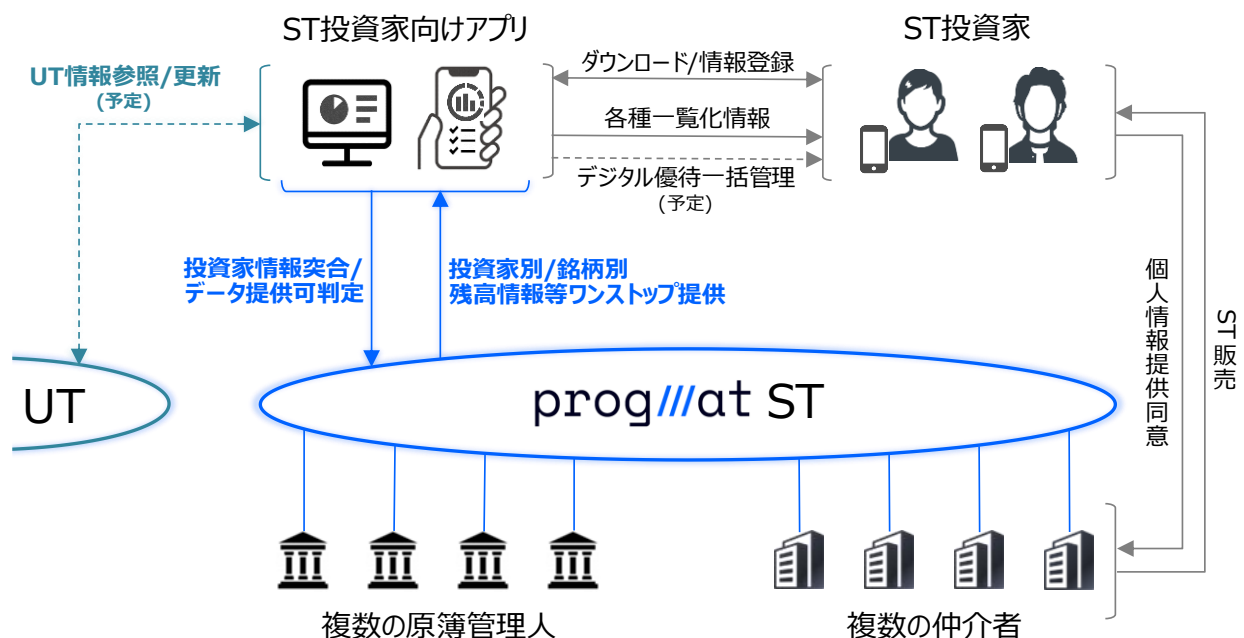
また、Progmatic が開発を推進する「Progmatic UT」基盤の外部連携サービス（API*2）をセットで組み込むことにより、各 ST に付帯するデジタル優待（Utility Token、以下 UT）も横断的に管理/利用することが可能になります。3,522 億円を突破した日本の ST 市場において、商品性だけでなく新たな投資家体験の提供も可能とすることで、ST 市場の“第 2 幕”を牽引していきます。

1. 協業の背景

Progmatic と、KST の親会社であるケネディクス株式会社（代表取締役社長 COO：寺本 光、以下 KDX）は、2021 年 8 月に発行した本邦初の公募型不動産 ST での協業に始まり、2025 年 4 月には資本業務提携を発表^{*3}しています。ST ならではの新しい顧客投資家向けサービスの開発や、将来的な ST と UT 及びステーブルコイン（以下 SC）との融合を見据えつつ、投資家の皆様への新しい投資機会及び投資家体験の提供を目指した提携であり、本サービスでの協業もその一環です。

本サービスの企画・開発にあたり、ST に関する原簿情報^{*4}の直接的な出し手となる原簿管理人（信託銀行等）や、当該情報取得のチャネルとなる仲介者（証券会社等）は多岐に亘るため、2023 年 10 月から、既存の ST 案件における横断的な整理と合意形成を図るための取り組みを協働して進めてきました。より業界横断的な標準化を目標に、2025 年 3 月には「ST データ連携円滑化ワーキング・グループ」を設置^{*5}し、2025 年夏の報告書の公表に向けて検討を進めています。

2. 各サービスの概要



(1) ワンストップデータ連携サービス

ST の発行者及び ST 投資家向けアプリ提供者は、「Progmatic」基盤上に保存されている投資家別/ST 銘柄別の残高情報や投資家情報を API の利用により横断的に呼び出し、リアルタイムに取得できます。

当該データの取得にあたり、無関係な第三者への情報流出や、個人情報提供の同意がとれていない ST 投資家の情報が意図せず利用されることを厳に防ぐため、当該データ取得を希望する ST 投資家と「Progmatic」基盤上に保存されている投資家情報を自動で突合し、当該 ST 投資家がデータを参照する権限を有しているかを都度判定のうえ、権限を有している場合のみ連携する仕組みになっています。

(2)「Progmatic UT」外部連携サービス

STの発行者及びST投資家向けアプリ提供者は、「Progmatic UT」基盤を用いて発行されたUTについて、自社アプリ等にAPIを組み込むことでUTデータの連携が可能となり、自社アプリ上でUTデータの参照/更新ができます。

当該連携により、ST投資家は自身が保有する様々なST/UTについて、単一のアプリ上でワンストップな管理/利用が可能となり、より利便性の高い体験を得ることができます。

3. 本サービスの今後の予定

本サービスは本日より利用が開始され、KDXが「Progmatic」基盤を利用して組成してきたST銘柄全8件のうち、償還済みの銘柄を除く7件について、「KDX ST アプリ」上でワンストップで管理することが可能になります。

また、本サービスの利用を希望するSTの発行者及びST投資家向けアプリ提供者の皆さま向けにも、本日より本サービスの提供を開始します。

「Progmatic UT」基盤自体は既に提供済みで利用開始されていますが、各社アプリ上での「Progmatic UT」外部連携サービス(API)については各STの発行者及びST投資家向けアプリ提供者による利用開始時点で別途公表します。

4. 公式モバイルアプリ「KDX ST アプリ」のリリース

「KDX ST アプリ」は、ケネディクスグループが発行・運用する不動産STである、ケネディクス・リアルティ・トークンを保有している投資家の皆さまに、お手元のスマートフォン上で「ワンストップデータ連携サービス」を通じて、保有しているSTを一覧で管理できる機能（資産サマリー）を提供いたします。

また、「KDX ST アプリ」上では、ケネディクス・リアルティ・トークンに関する IR 情報や不動産投資に関連する学習コンテンツを、一元化し分かりやすいデザインでお届けするとともに、重要な通知やお得なキャンペーン情報をスマートフォンのプッシュ通知でお知らせするなど、モバイルアプリならではの機能もそなえています。

5. 「KDX ST アプリ」リリースを記念したキャンペーン開催

KST では、公式モバイルアプリ「KDX ST アプリ」リリースを記念して、キャンペーンを開催いたします。

キャンペーン開催期間中にアプリダウンロードや「資産サマリー」機能の使用開始、お知り合いの方へのご招待など、一定の条件を満たした方を対象に最大 20,500 円分の Amazon ギフトカードをプレゼントいたします。*

詳細は、各キャンペーンページをご覧ください。

(1) キャンペーン

	キャンペーン名	開催期間
①	【先着 1,000 名様限定】「KDX ST アプリ」のダウンロード&アンケート回答で、もれなく Amazon ギフトカード 500 円分をプレゼント！	2025 年 6 月 10 日(火)12:00～ 2025 年 11 月 30 日(日)23:59
②	【対象者全員】本人確認後、「KDX ST アプリ」への「資産サマリー」機能開始で、もれなく 10,000 円分の Amazon ギフトカードをプレゼント！	2025 年 6 月 10 日(火)12:00～ 2025 年 11 月 30 日(日)23:59

③	<u>【対象者全員】1人招待する度に招待した方・招待された方それぞれに1,000円分のAmazonギフトカードをプレゼント！</u>	2025年6月10日(火)12:00～
---	--	---------------------

※ 上記3つのキャンペーンは併用可能です。

※ 各キャンペーンについて、開催期間終了前でも定員に達し次第終了とさせていただく可能性がありますので、お早目にお申し込みください。また、各キャンペーンは予告なく変更・終了する場合がありますのであらかじめご了承ください。

(2)「KDX ST アプリ」詳細

- アプリ提供開始日：2025年6月10日
- 対応 OS：iOS/Android
- 対応言語：日本語
- 価格：ダウンロード無料
- 運営：KDX ST パートナーズ株式会社

App Store：<https://apps.apple.com/jp/app/kdx-st/id6667101746>

Google Play：https://play.google.com/store/apps/details?id=app.kdx_sto.kdx_st



(3) リスク説明等

KST が扱う金融商品あるいは KST が提供する業務についてのリスク及び手数料等並びに留意事項については、以下リンクをご覧ください。

https://www.kdx-sto.com/rules?rules=risk_explanation

6. 会社概要

(1) 「ワンストップデータ連携サービス」及び「KDX ST アプリ」提供者

会 社 名：KDX ST パートナース株式会社（旧社名：ビットリアルティ株式会社）

代 表 者：代表取締役社長 中尾 彰宏

設 立：2017 年 6 月 26 日

資 本 金：100 百万円

所 在 地：東京都千代田区内幸町二丁目 1 番 6 号 日比谷パークフロント

U R L：<https://www.kenedix-st.com/>

投資運用業、投資助言・代理業、第二種金融商品取引業：関東財務局長（金商）第 3098 号

総合不動産投資顧問業：総合-第 178 号

宅地建物取引業：東京都知事（1）第 108729 号

貸金業：東京都知事（1）第 31913 号

加入団体：一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、日本貸金業協会会員 第 006241 号

(2) 「ワンストップデータ連携サービス」提供者及び「Progmatt UT」外部連携サービス開発者

会 社 名：Progmatt, Inc.（株式会社 Progmatt）

代 表 者：代表取締役 Founder&CEO 齊藤 達哉

設 立：2023 年 10 月 2 日

所 在 地：東京都千代田区丸の内 1-6-5 丸の内北口ビルディング（WeWork 内）

U R L：<https://progmatt.co.jp>

以 上

*1 プレスリリース：<https://www.kdx-sto.com/news/press-release/20250610-01>

*2 アプリケーション・プログラミング・インターフェース（Application Programming Interface）の略。異なるソフトウェアやアプリケーション間でのデータ連携や機能共有を可能にする仕組み

*3 プレスリリース：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000001.000158140.html>

*4 信託（受益証券発行信託）を用いた ST 化した受益権においては受益権原簿（信託法第 186 条）、ST 化した社債においては社債原簿（会社法第 681 条）の記載事項を指し、権利者の氏名又は名称及び住所、権利者が各有価証券を取得した日等で構成される

*5 プレスリリース：<https://progmatt.co.jp/news/2025-03-04-press02/>

*6 「KDX ST アプリ」で実施するキャンペーンや特典の付与は、KDX ST パートナース株式会社による提供です。本キャンペーンについてのお問い合わせは Amazon ではお受けしておりません。キャンペーンについては「KDX ST パートナース 株式会社 キャンペーン事務局」(<https://www.kdx-sto.com/inquiry>)までお問い合わせください。Amazon、Amazon.co.jp およびそれらのロゴは Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

<別紙>

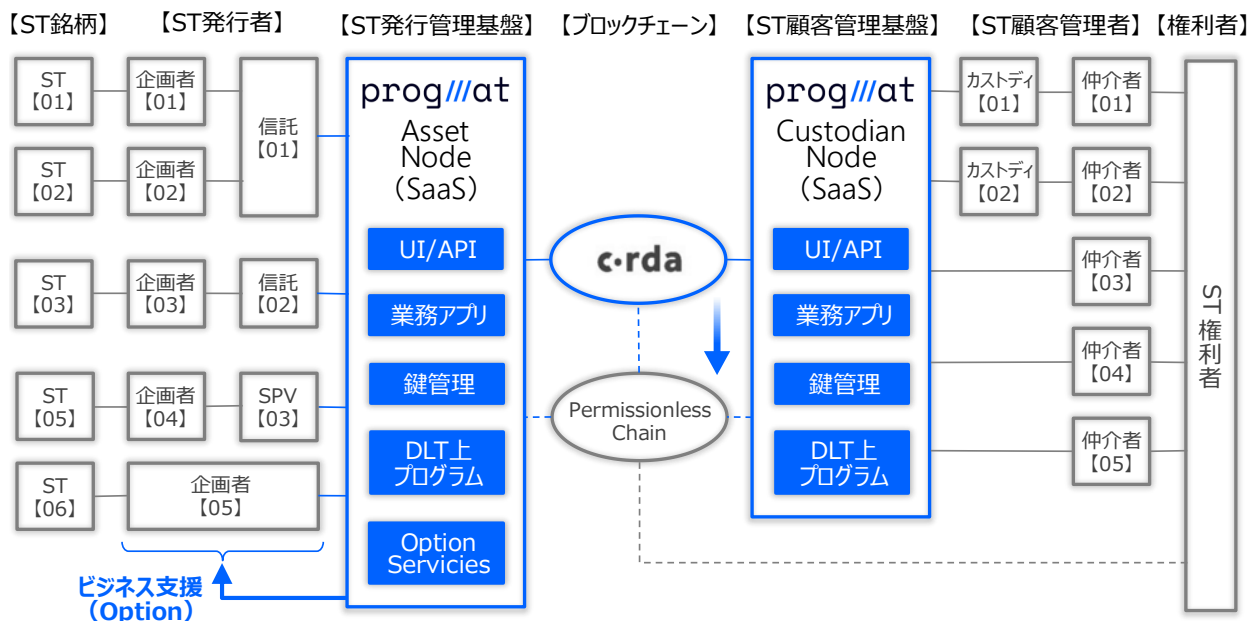
1. 「Progmatt」について

解説記事：https://note.com/tatsu_s123/n/n03a291fa52ab



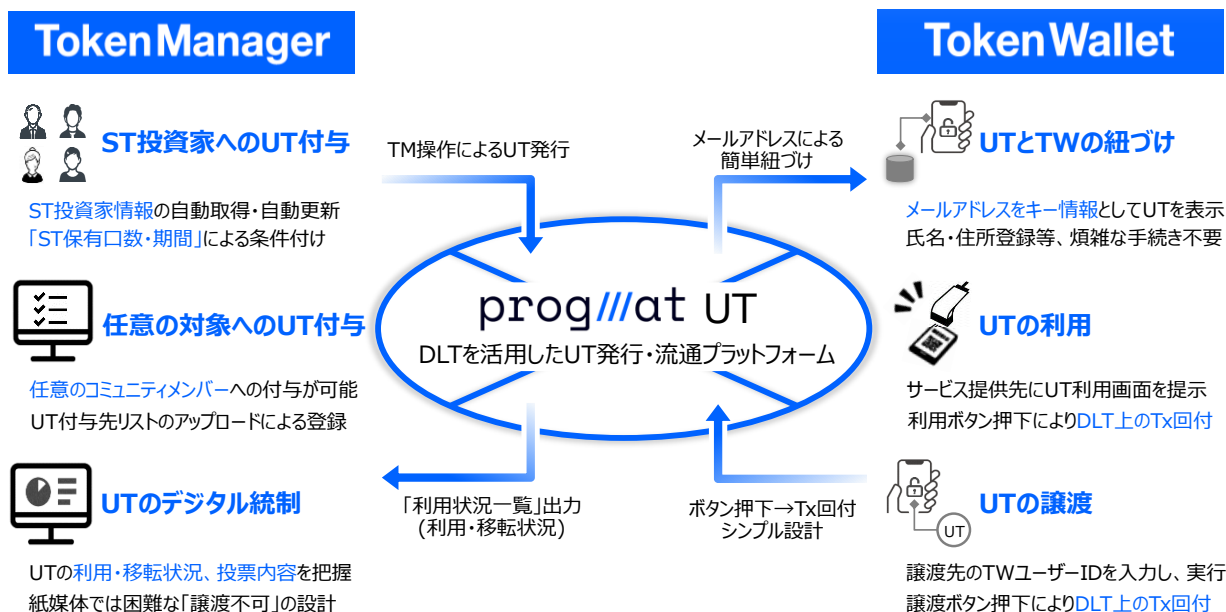
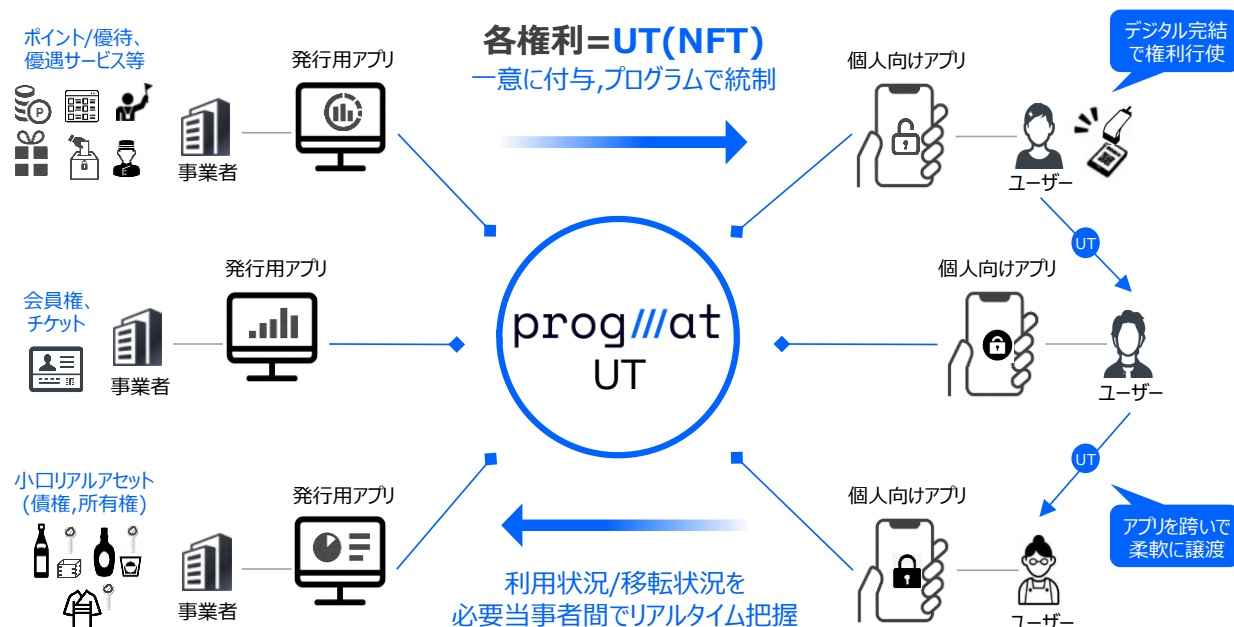
2. 「Progmatt (ST)」基盤及び関連サービス概要

ST 発行者（原簿管理人）向けの SaaS（Asset Node）、ST 顧客管理者（仲介者及びカストディアン）向けの SaaS（Custodian Node）、および各 Node 間のデータ連携を行う分散型台帳で構成されます。ソフトウェアのほか、ビジネス面のワンストップ支援もオプションサービスとして提供しています。



3. 「Progmatt UT」 基盤及び関連サービス概要

優待や特典、(有価証券に該当しない) 権利をトークンとして発行・管理し、アプリ間で連携可能にするソフトウェアです。UT 発行者向けの SaaS (Token Manager)、UT 権利者向けの Web UI (Token Wallet) の一体利用により、簡易操作で UT 登録・移転が可能です。外部連携サービス (API) の利用により、Token Wallet ではなく任意のアプリケーションから参照/更新が可能にもなります。



4. 国内 ST 市場概要

ST 案件の残高総額は約 3,522 億円、ST 発行累計額は約 1,973 億円/63 案件（うち 12 件償還済）、参入証券会社数は 12 社（+自己募集事業者有）となっています。

概要資料：<https://speakerdeck.com/progmat/st>

